

報道関係各位

2022年6月29日
株式会社クロス・マーケティング

夏野菜の季節 心配なのは「値上がり」 形は気にせず、使いきれの量を買って対応

－夏野菜に関する調査（2022年）－

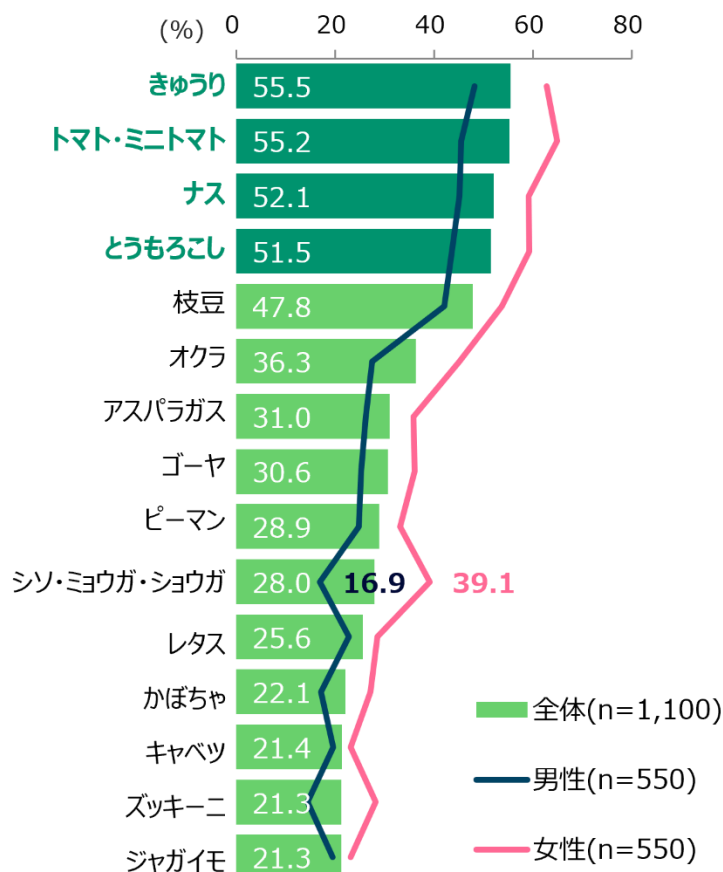
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「夏野菜に関する調査（2022年）」を実施しました。今夏、人々から好まれる夏野菜や夏野菜を使った料理とは、どのようなものなのでしょうか。今回は、「夏野菜と聞いて食べたいもの」「夏野菜を使った料理で食べたいもの」「野菜の購買行動」「家庭菜園の経験・意向」などを聴取しました。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220629summerveggies/>

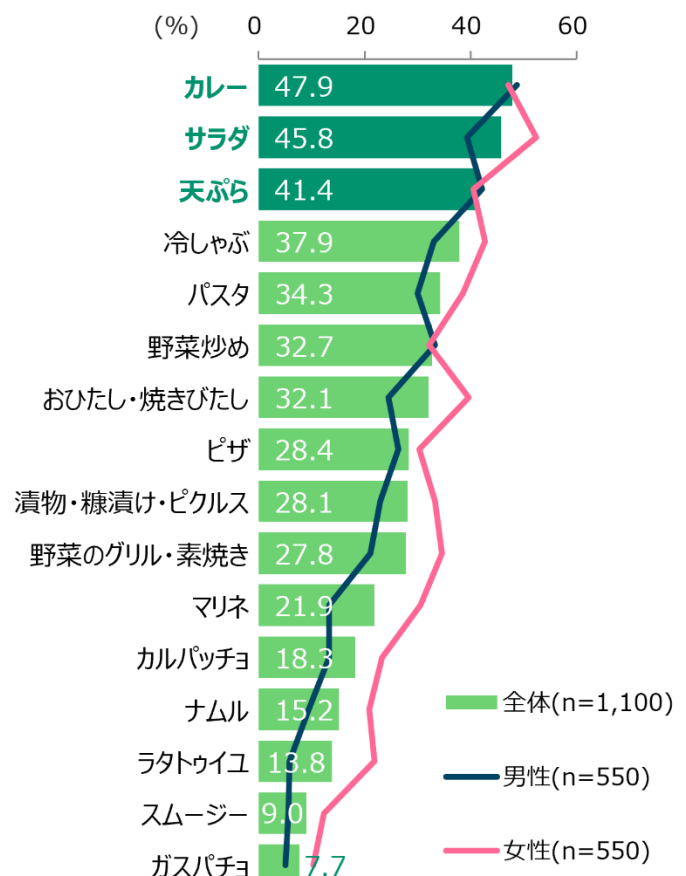
■調査結果

- ✓ 夏野菜で食べたいものとして、「きゅうり」「トマト・ミニトマト」「ナス」「とうもろこし」が上位にあがった。〈図1〉
女性は「シソ・ミョウガ・ショウガ」と答えた人が男性より20pt以上高い。
- ✓ 夏野菜を使った料理で食べたいものは、「カレー」「サラダ」「天ぷら」がTOP3。〈図2〉
4位以降は男性は「野菜炒め」「冷しゃぶ」が続く、女性は「冷しゃぶ」「おひたし、焼きびたし」が続く。夏野菜と聞いて食べたいもの・夏野菜を使った料理ともに女性の方が回答割合が高く、夏野菜は女性に好まれている様子。
- ✓ 野菜に関する購買行動に関しては、「野菜の値上りを心配している」「形が悪くても気にしない」「使い切れる量だけ買う」が上位。〈図3〉
- ✓ 現在家庭菜園を行っている人は2割。これまでの経験に関係なく今後やってみたいと思っている人は3割と、現在行っている人と合わせて半数は、自分で野菜を育てることに関心がある。〈図4〉

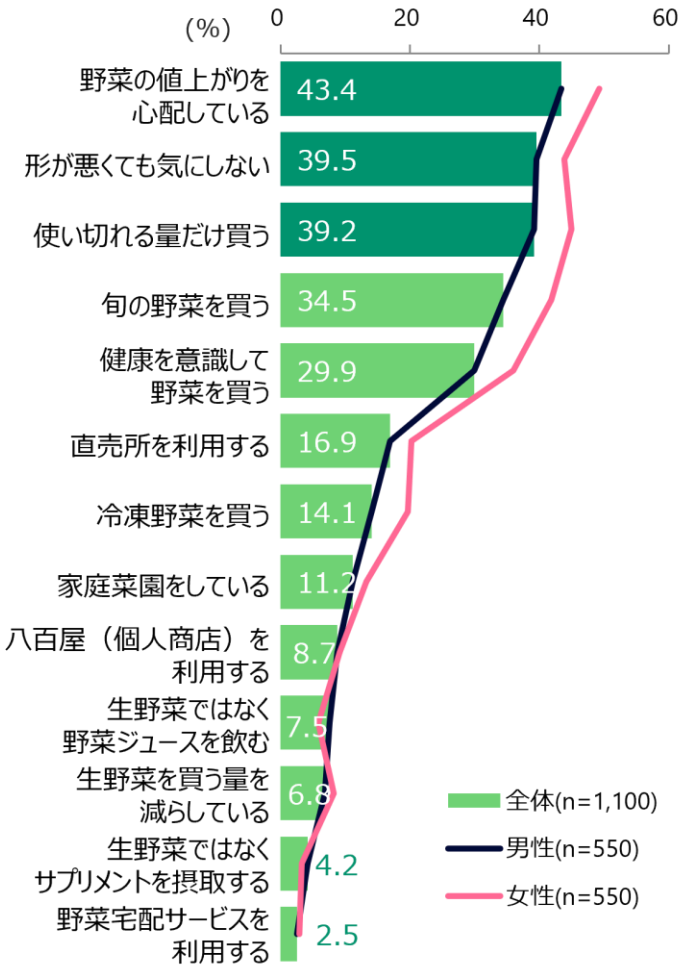
〈図1〉夏野菜と聞いて食べたいもの（複数回答 n=1,100）
※20%以上の項目を抜粋



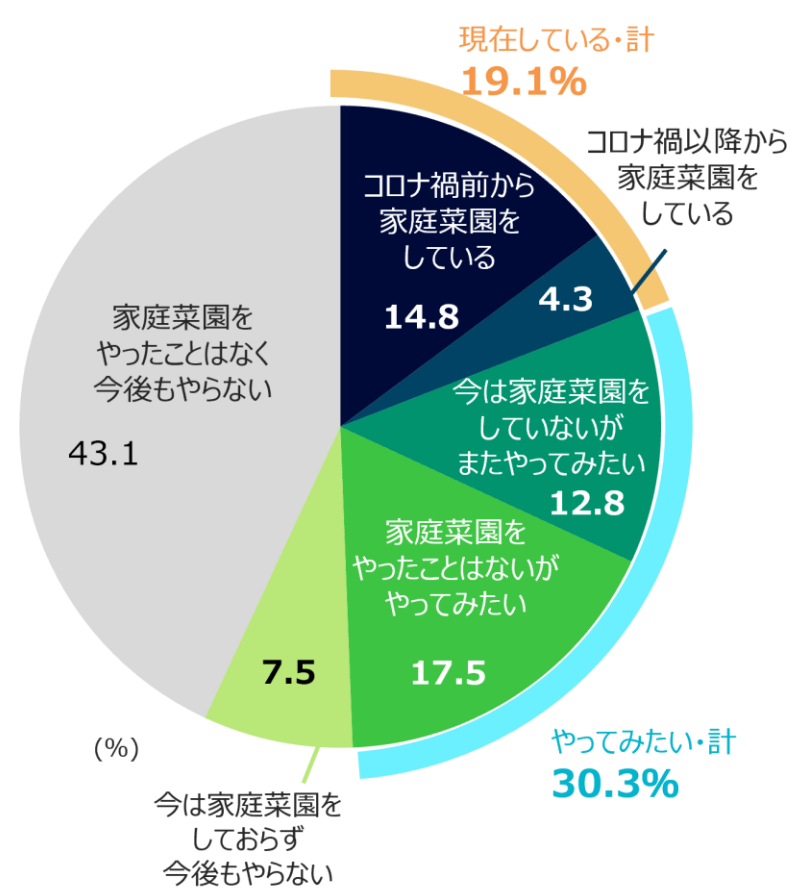
〈図2〉夏野菜を使った料理で食べたいもの（複数回答 n=1,100）



＜図3＞ 野菜に関する購買行動 (複数回答 n=1,100)



＜図4＞ 家庭菜園経験・意向 (複数回答 n=1,100)



■ 調査項目

- 属性設問
- 昨今の状況下で、現在、あなたが「してもいい」と思う外出を伴う行動
- 夏野菜と聞いて食べたいもの
- 夏野菜を使った料理で食べたいもの
- 野菜に関する購買行動
- 家庭菜園の経験・意向

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220629summergegges/>

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用)
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20～69歳の男女
 調査期間 : 2022年6月24日(金)～6月26日(日)
 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

＜例＞ 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」

